

ほけんだより 2月

桜谷小
保健室
H30. 2

「かんきを5分以上してください！」と児童会が呼びかけています。かぜにかかっている人、インフルエンザで休んでいる人がいますが、一人でもかからないように



がんばっているところです。ウイルスは、ほこりにくっついて空気中に浮かんでいます。空気を入れかえたり、教室をきれいにするのもだいじです。また口の中やのどにも入るのでお茶をのんだり、給食のあとに歯をみがいてきれいにする事で防ぐこともできます。

いつもありがとう！給食感謝週間

戦争が終わったころは、食べるものがなくておなかをすかせていました。そのころの6年生の体格といえば、4年生くらいの身長、体重しかありませんでした。栄養不足を補うために、外国から脱脂粉乳や小麦粉やかんづめがたくさん送られてきて、日本全国に学校給食が広まり、その記念日で「学校給食週間」が作られました。

健康・給食委員会では、食べものクイズウオーラリー、インタビューをしました。学級では、お世話になっている調理員さん、用務員さん、事務員さんに、感謝の気持ちをお手紙を書いたりプレゼントを作ったりしました。

◆5人にインタビュー

調理員の山口さんと持田さん、長井さん、用務員の島田さんと事務主事の入江さんの5人にインタビューをしました。「仕事をしていて楽しいですか？」「好きな調理はなんですか？」「失敗をしたとき、そこから学んだことは？」などのお話を聞きました。

みんなもミスをおそれないで、いろんなことにどんどんチャレンジしてほしい。





◆たべものクイズウォークラリー

6つのクイズ作りは給食だよりを見て考えました。みんなは、「どこにクイズがあるの?」と、さがしながら答えをポストに入れてくれました。「11月8日はなんの日?」「春に美味しいやさいは?」など、ちょっとむずかしかったみたいですが、たくさんの方が参加してくれました。

◆あいがとうの気持ちをこめて



29日、みんなの「ありがとう」がいっぱいだったお手紙や色紙、かべかけ、台ふきぞうきんを手わたしました。

ここにこ顔で受け取ってもらえてよかったね!

みんなが楽しめるものをそろえてくれたり、修理に出してくれてありがとう。

いやなことがあってもおいしい給食から元気もらっています。給食のおかげで楽しい会話ができています。



畑をたがやしたり、日野菜のお世話をしてくれたり、学校をピッカピカにしてくれてありがとう。

